

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	造血幹細胞移植患者の退院時のサルコペニア有病率と、退院後再入院率との関連性
	研究対象者	2023 年 1 月～2024 年 7 月までに当院で造血幹細胞移植を施行された患者さん
	研究目的	造血幹細胞移植 (HSCT) 患者は、移植前後の強力な化学療法や放射線治療により、筋肉量および筋力の著しい低下、すなわちサルコペニアを発症しやすい状態にあります。退院時のサルコペニアは、身体的予備力の低下を反映しており、免疫抑制状態や移植後の慢性合併症に対する脆弱性を高める要因となり得ます。本研究で、退院時のサルコペニア有病率を明らかにし、移植後 1 年以内の非再発入院との関連性を検討することは、早期の身体機能評価と介入の重要性を示す科学的根拠となります。また、移植後の生活の質や長期予後の改善に寄与する支援体制の構築に資する可能性があり、臨床的にもリハビリテーション医療や栄養管理の介入時期を検討する上で意義深いと考えられます。
	研究方法	2023 年 1 月から 2024 年 7 月までに、当院で HSCT を施行した成人患者 124 例のうち、移植後 1 年以内の死亡、データ欠損者を除く 75 例を対象とした後方視的観察研究。移植前（入院時）および退院時に、AWGS 基準に基づきサルコペニアを判定。また移植後 1 年以内の再入院の有無と、入院理由をカルテより情報収集。主要アウトカムは移植後 1 年以内の非再発性再入院。統計解析には Fisher の正確確率検定を使用。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 9 月 8 日 ～ 西 暦 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	☐ 〇総長が研究実施を許可した日 ☐ 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	☐ 試料:	☐ 血漿、 ☐ 血清、 ☐ 全血、 ☐ 末梢血から抽出した DNA、 ☐ 病理検体(具体的に記載: _____)、 ☐ 尿、 ☐ 糞便、 ☐ 唾液、 ☐ 胸水、 ☐ 腹水、 ☐ 脳脊髄液、 ☐ 毛髪、 ☐ その他(具体的に記載: _____)
	☐ 〇情報:	☐ 〇診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 ☐ 〇年齢、 ☐ 生年月日、 ☐ 〇性別、 ☐ 既往歴、 ☐ 併存疾患、 ☐ 〇外来日・入院日・退院日、 ☐ 〇臨床検査値、 ☐ 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 ☐ 〇臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 ☐ 〇ゲノムデータ、 ☐ 看護記録、 ☐ その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター	所属・氏名
	研究責任者	リハビリテーション科 成田春香
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター リハビリテーション科 理学療法士 成田春香 代表番号 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	